

誰一人取り残さない 情報発信のサイクルを目指して

第8回 地域連携で魅力を発信

UD
FONT
by MORISAWA

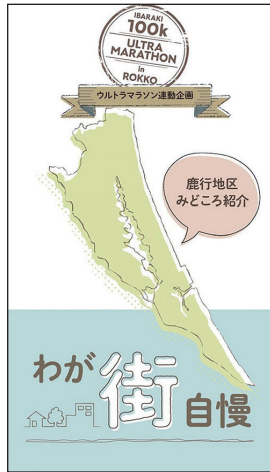
本コラムは令和3年9月から始まり、市民一人一人が情報発信できる環境構築、新たな地域活力の創出の活動について、ユニバーサルデザインフォントや、多様性を考慮した情報発信についてカタポケの紹介などを通してお伝えしてきました。地域の魅力を住民の皆さんへ、そして来訪いただいた市外の皆さんへいかに発信し、地方創生につなげるのかについてお伝えしたいと思います。

鹿行地区共同で魅力を発信する

2022年3月13日(日)に茨城県鹿行地区(鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市)で開催された

『第4回茨城100kウルトラマラソンin鹿行』にあわせて、来訪者に地域の魅力を紹介する観光コンテンツ「わが街

鹿行地域連携
わが街自慢コンテンツ



「自慢」がカタログポケット(以下「カタポケ」)で配信されました。

このイベントは、鹿行地区5市で100kmのコース景観を楽しみながら走ってもらうことで、鹿行地区の魅力PRと、地域活性化を図ることを目的とされ、将来的には新たな地域づくりの担い手である「関係人口」と呼ばれる地域と、多様に関わる人々を増やすことも期待されています。(カタポケの紹介記事は1月号をご覧ください)

スマホで地域の魅力を共有

コンテンツを見ていただくと、鹿行5市連携により、それぞれが持ち寄った「わが街自慢」の観光スポットが見られるようになっていきます。住民の皆さんには、おなじみのスポットかもしれません。が、市外・県外からの方々にはきっと魅力的なスポットばかりです。また、スマホ画面に最適化されたページデザインと、多くの方に見やすく読みやすいページ設計にも工夫がされています。

鹿行地区にお住まいの方には、

近隣の情報ですので、マイクロツーリズムとして、ご自身の街の魅力再発見になればと思います。

鹿嶋市、潮来市、行方市、鉾田市では、この他にも毎月の広報紙配信でもカタポケ配信しています。この機会に、他市の広報情報もカタポケで読んでみてはいかがでしょうか。

UDフォントの普及

また『第4回茨城100kウルトラマラソンin鹿行』で、参加者ランナー



が装着するゼッケンではUDフォントが採用されました。このコラムでも度々紹介してきたUDフォントですが、地域連携事業でも広く活用されることで、多くの方々が受け取りやすい情報を作ることの重要性を理解する機会になれば、うれしいです。

編集協力・株式会社モリサワ